

第2回FAIパラグライダーディングジュニア世界選手権要綱

*日程：2026年8月22（土）～30日（日）

*場所：クルシェヴォ、北マケドニア（スコピエの南南西約70km）

*参加人数：130名

国別枠：オフィシャル・チーム4名（同一性最大3人）、個人参加は無制限（なお最初のセレクションは2026年6月1日に行われる。その際、使用される国別ランキングは2026年5月1日時点のもの。その後枠に空きがあった場合には追加のセレクションが6月7日から行われる）。

*参加資格：

- ・NAC（日本ではJAA）の参加承諾を得ていること。
- ・JAAが発行した大会期間中有効なFAIスポーティングライセンスを取得していること。
- ・JHFクロスカントリーパイロット証を取得していること（IPPIカードのパラプロ5を持っていること）。
- ・1999年1月1日以降に生まれていること。
- ・2026年5月21日以前の2年間において、XC競技のカテ2大会に少なくとも1回は参加していること。
- ・未成年者（18歳未満）は保護者の同意を得ていることまた保護者が大会に同行すること。

*エントリー受付：2月24日～5月31日。選手自身がウェブ(<https://civlcomps.org/event/pg-junior-worlds-2026>)から行う。

*エントリー費：選手490ユーロ、チームリーダー250ユーロ、アシスタント200ユーロ。

*エントリー費（選手およびチームリーダー）には通常のアイテム（地図・メイン道路からの回収（競技日の）など）に加えてライブトラッキングサービス、朝食、昼食、水（競技日の）が含まれています。

*エントリー費払い込み締め切り：2026年6月6日（JHFから送金します）

*現地受け付け時に必要なもの：

- ・パスポート
- ・IPPIカード（パラプロ5）とJHFXC技能証（これらは必要資料として掲載されていないが念のため持参）
- ・FAIスポーティングライセンス（基本はウェブ上で確認されるので、不要ですが念のため）
- ・保険証券（第3者賠償：10万ユーロ（約1900万円）以上。傷害疾病、救援者費用：金額は指定されていないが最低でも1000万円くらいは必要かと思います）英文。大会でもカバーするもの。
- ・3DGPS（メインとしては主催者側が提供するライブトラッカーなので、サブとして使用。気圧高度を記録できるもの。ケーブルは持参すること。使用できるGPSは<https://www.fai.org/page/civil-xc-instrument-accepted>で確認）
- ・サテライトを使用するトラッカー（大会期間中使用できるようにサブスクしてあること）

*無線機必携：安全無線周波数：144.425、回収周波数：143.725。

*携帯電話必携：北マケドニアで通信が可能なもの。テレグラムをインストールしてあること（回収および連絡に使用）。

*使用装備：グライダー（CIVLコンペクラス、所謂CCCの認証を取得しているものあるいはEN認証機）、ハーネス（LTF09あるいはEN1651：2018以降の認証を取得しているもの）。ヘルメット（EN966(HPG)、EN1077-AおよびB(スノウスポーツ)、ASTM2040(スノウスポーツ)、SNELLRS-98認証のどれかを取得しているもの）、レスキューパラシュート。

スケジュール：

8月22日（土）	8：00～11：00	レジストレーション
	12：00～17：00	非公式トレーニング
	18：00～19：30	TLBの後セーフティブリーフィング（参加必須）
	19：45～開会式	
8月23日（日）		公式トレーニング
8月24（月）～30日（日）		競技

08:45 TLB
10:00～テイクオフへ移動
11:15 パイロットブリーフィング
12:00～競技

8月30日（日） 21:00～閉会式

注）時間は予定で変更の可能性あり

参加希望者は、大会ウェブエントリーを 5月31日まで にして、かつ 5月17日まで にPG競技委員会 (pgc@jhf.hangpara.or.jp) へ連絡してください。その際必要な項目は、氏名、氏名（アルファベット（パスポートに記載されているもの））、年齢、生年月日、連絡先携帯番号、メールアドレス、FAI スポーティングライセンス番号、CIVLID 番号。なお選手選抜は2026年1月1日時点での国際選抜ランキングで行います。また、日本チームに対してはJHFからの補助が支給される予定です。